

☆数教育のつづき

この年齢の子どもたちは、数えること自体が楽しく、大人なら見ただけで面倒に思ってしまうようなことでも楽しくて楽しくて時間を忘れてしまうほど熱中します。数えたくて仕方がない「数の敏感期」にいる子どもに、遊びながら楽しく数える事のできる具体的な教具が数教育の教具といえます。それはただ教えこまれるということではなく見て触るを繰り返す事で体の中に筋肉記憶されます。ですから小学校の算数に出会った時、懐かしい人に再会したような親しみを感じても、知ったかぶりすることなく、フレッシュに出会えるのです！！

☆ 生きていく上で、数とは無縁ではられません。数との出会いにおいて、よりよい出会いができれば、どんなに幸せでしょうか。その場が、モンテッソーリ教育の中にあることを、確信を持っていることができます。

清心幼稚園のお部屋の中にも、たくさんの数教育の教具があります。
例えば・・・

赤と青の数棒
砂数字板
つむ棒箱
数字と玉・数あそび

十進法の紹介
・ビーズ } の紹介
・カード }
十進法の機能
銀行あそび・切手あそび

教具の紹介

■ つむ棒箱

※ 適応年齢・・・数の棒と数字カードの後での紹介となるので4歳～5歳

(紹介方法)

- ① 数字の確認・・・1～9までの数字を指さし読む。最後に0を示して読み、0を強調しておく。
- ② 数字に合う数の棒を入れる

☆ 最後につむ棒箱が余ったり、逆に足りなくなったりすれば、どこかで間違えたと自分で気づくよう、教具が工夫されています。



数字に合わせて入れましょう

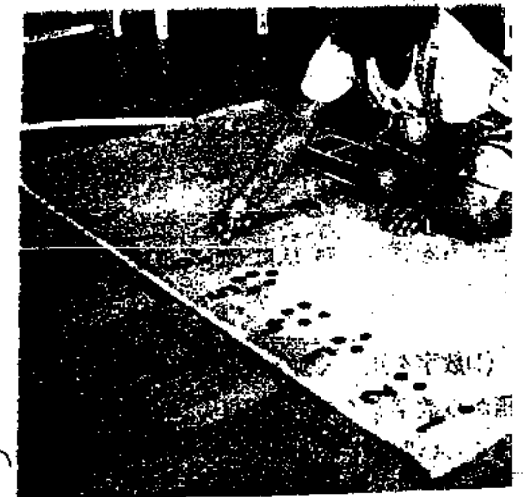
■ 数字と玉 (奇数と偶数)

・準備物 1～10までの切り抜き数字
55個の玉

※ 適応年齢・・・つむ棒箱の後での紹介となるので、4歳半～5歳

(紹介方法)

- ① 数字を正しく並べる
- ② 数字に合う玉を並べる
- ③ 指を通す



指、そして声を出しながら行ないます！
切り抜き数字ですから、裏返ったままですと、鏡文字になってしまいます！

■ 数あそび・・・0 (ゼロ) あそび 数の記憶あそび

・準備物 0～9までの数字が書いてあるカード
どんぐり45個 (かごの中)

※ 0 (ゼロ) が何もないことを強化する活動です。

(紹介方法)

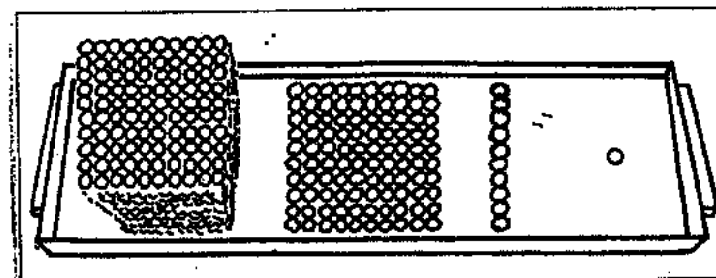
- ① 一人ずつ自分のカードの数だけどんぐりを取る。
- ② 一人ずつカードとどんぐりの数が合っているか確かめる。
一人だけどんぐりを取らなかった子どもがいて、0カードだったから取らなかったことを伝える。



「ぼくは取れないんだ、0だから」

■ 十進法の紹介 (一部)

・ビーズの紹介



10進法のビーズ

☆この教具では、どの位も10個集まると、次の位の1個と同じになること (十進法) を具体的に教具を手でさわって、数え、確かめ、納得できるように工夫されています。

普通、10までの紹介の後には11、12、13と連続数を紹介しますが、その前に十進法へと導入するところが、モンテッソーリ教育のユニークなところと言えます！

※ビーズの紹介の後、カードの紹介、そして十進法の機能と進めていきます。